

「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」放送原稿〈11月21日（金）放送分〉

テーマ「あまみならではの学舎の紹介②」

あまみエフエム ディ！ウェイヴをお聞きの皆様、おはようございます。鹿児島県立奄美図書館です。今日は、『あまみならではの学舎』の紹介」の第2回目です。

前回もご紹介しました通り、「あまみならではの学舎」とは、県立奄美図書館で平成18年7月に開設された生涯^{しょうがいの}学習講座です。県民の学習意欲や要望に応じたテーマで構成されており、今年度は年間8回計画しています。これまで6回の講座が行われ、前回は、二つの講座についてご紹介いたしました。今回は、その後行われました三つの講座について紹介します。

まず、7月19日に「クロマグロ増^{ぞう}養^{よう}殖^{しよく}研究の現状について」と題して、マグロ増養殖研究センターの塩澤^{しおざわ}聡^{さとし}さんに講話をしていただきました。講座では、マグロに関する小テストから始まり、マグロの種類と特徴、マグロを取り巻く世界の動向、クロマグロ増養殖研究の現状や課題を大変分かりやすくお話しくささいました。受講された方からも「クロマグロの増養殖の現状と課題などがよく理解できました。安定した食^{しょく}糧^{りょう}確保のために、十分な研究費や人材の確保ができるような、国の支援が継続的に行われることを切に望みます。」「奄美のクロマグロ養殖が日本一だとは知りませんでした。今後も増殖研究をがんばってもらいたいと思います。」「マグロについてこんなに詳しく学んだことは初めてでした。増養殖の研究は、とても大切な研究だと思いました。」など多くの感想が聞かれました。

続きまして、8月23日には、4回目の講座『名瀬物語』を検証する」と題しまして、奄美郷土研究会の岩多雅朗^{いわ た まさあき}さんにお話をいただきました。『名瀬物語』とは、春苑堂書店から出版された泉俊義^{いずみ としよし}さん著作の本です。講話では、『名瀬物語』の概要から、明治から昭和にかけての名瀬の街の移り変わりを貴重な地図や写真を交えて教えていただきました。受講された方々からは、「大正、昭和の名瀬の街について、興味をもっていたのですが、なかなか知る機会がなく、本日はとても意義のある話があり、良かったです。」

『名瀬物語』を読みたいと思いながらまだでした。今日の講師の先生のお話を伺い、必ず近いうちに読もうと決意しました。名瀬の街について更に深く学んでいこうと思っています。本当にありがとうございました。」「古文書や古地図の読み取りは一般の人には難しく、このような講演は大いに勉強になります。」など多くの感想が聞かれました。今回、講座で出てきました『名瀬物語』は奄美図書館でも貸出ができます。

9月20日に行われました5回目の講座は、「我が国を取り巻く安全保障環境と我が国の防衛に関する施策」と題しまして航空自衛隊奄美分屯基地の杉山裕己さんにお話をいただきました。奄美通信隊と奄美分屯基地の概要や活動の様子や『防衛白書』をもとに日本周辺における安全保障環境の現状、防衛に関する施策の内容等を分かりやすく説明してくださいました。受講者の方々からは、「日本の防衛や安全保障などについて、まとまった話を聞く機会は今回が初めてでした。奄美大島分屯基地の設備や業務内容などについても、とても参考になりました。」「日本を取り巻く、安全保障問題等公正な面で一般の住民に知らせることは重要なことだと思います。これからも機会があれば学習を受けたいです。」などの感想が聞かれました。

「あまみならでは学舎」の今後の計画としまして、明日、11月22日、土曜日午後2時から、伝統工芸士・唄者の福山幸司さんによります「泥染めと共に歩む島唄」の講座があります。大島紬の泥染めの工程を中心にお話があり、島唄も10曲ほど披露していただくことになっています。また、今年度最後の講座は、来年1月17日に、奄美海洋生物研究会の興克樹さんによります「地域資源としての奄美の海洋生物」の講座になります。世界自然遺産の登録にもつながる、奄美の海の神秘的な様子を、ご覧いただけたと思います。どちらも事前の申し込みをお願いしていますが、当日の受付も可能ですので、是非ご参加ください。

職員一同、皆様のご来館を心からお待ちしております。以上、鹿児島県立奄美図書館でした。